



2025年3月26日

日本鉄道労働組合連合会

森屋たかし参議院議員・浜野よしふみ参議院議員

参院予算委員会で石破総理に重要課題を問う！

J R 連 合 「21 世 紀 の 鉄 道 を 考 え る 議 員 フ ォ ー ラ ム」 所 属 の 森 屋 た か し 参 議 院 議 員 と 浜 野 よ し ふ み 参 議 院 議 員 は 3 月 10 日、参議院予算委員会でそれぞれ質疑に立ち、石破茂内閣総理大臣や中野洋昌国土交通大臣、福岡資麿厚生労働大臣らと J R 産 業 の 主 要 課 題 の 解 決 に 向 け、質 疑 を 行 っ た。



まず同日午前、森屋議員は、①国鉄分割民営化から長い時間が経過する中、JRは地方ローカル線維持に向け厳しい現実に直面。事業者任せにせず、国の公共交通予算拡充を含め、公的支援を行っていくことが必要、②バス運転手不足が深刻な一方、運賃が

上がらずダイヤも減らせない現状があり大きな問題、等の点を指摘した。①について石破総理からは、「鉄道と自動車の組み合わせや融合をいかにして図るか、持てる長所を最大限に発揮できるようにするかといった考察は更に必要」という旨の答弁あり。②について中野大臣は「バス運転者の処遇改善に資する運賃改定の迅速化等が必要」との認識を示した。

同日午後、浜野議員は、賃上げと消費拡大の好循環に係る質疑の中、「広く賃上げを呼びかける以上、認可料金である電気



料金や鉄道料金、薬価等の認可・公定については賃上げを考慮すべき」と指摘。石破総理からは「電力・鉄道・薬価等の価格審査時、賃上げの考慮は当然重要。人件費等の増加が料金に反映され賃上げが進む環境整備に努

める」旨の答弁を引き出した。

今後、こうした質疑・答弁を具体的な課題解決に活かすべく、国土交通委員会等でもさらなる質議を展開していく。